

## 地震学を活用した核実験探知技術の研修を開講

(「第 16 回国際地震工学研修グローバル地震観測コース」)

現在、包括的核実験禁止条約 (CTBT) 発効に向けた取り組みが国内外で進められています。これと並行して、条約の遵守を検証するための国際監視制度の整備が進められています。地震学的手法を用いた地下核実験の監視はその重要な柱の一つです。自然の地震と核実験では震源の深さや地震波形の複雑さ、周波数成分が異なりますので、これらの詳細を調べることで自然の地震と核実験を識別できます。

独立行政法人建築研究所は、外務省から依頼を受け、核軍縮推進のための国際貢献として、1995 年から毎年、地震学を活用して核実験を探知する技術を習得した人材の育成を目的とする「国際地震工学研修グローバル地震観測コース」を実施しております。

本研修には、開講以来、現在までに69ヶ国から150名の研修生を受け入れ、日本の国際協力、技術援助の分野で高い評価を得ており、16回目となる今回は、1月13日に開講し、3月11日までの約2ヶ月間、10ヶ国から10名の研修生を受け入れ、国連の関係機関である包括的核実験禁止条約機関 (CTBTO) 準備委員会暫定技術事務局 (PTS) の国際データセンター (IDC) からの講師もお招きし、国際協力機構 (JICA) 及び気象庁と協力して研修を実施いたします。なお、PTSのグエンデル国際監視制度局長は国際地震工学研修 (1975-76 : 地震学コース) の研修修了生です。

### <参考1 : 開講式の日程>

第16回国際地震研修 グローバル地震観測コース 開講式

日時 : 平成23年1月13日 (木) 10:00~10:30

場所 : JICA筑波国際センター (JICA筑波)

つくば市高野台3-6 TEL 029-838-1111

### <参考2 : 研修生の出身国名 (10ヶ国) >

中国、ジブチ、エジプト、インド、ネパール、パキスタン、パプアニューギニア、タイ、トンガ、ジンバブエ

(内容及び開講式取材の問合せ先)

独立行政法人建築研究所

所 属 国際地震工学センター

管理室長

氏 名 黒 澤 肇

電 話 029-879-0678(直通)

E-mail [kurosawa@kenken.go.jp](mailto:kurosawa@kenken.go.jp)

☆ ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、上記問い合わせ先へお知らせ下さい。